

コロナ禍でも負けないまちづくりを！

『枚方のおいしいを届けたい』CHIIBOデリバリー

4月に行われた緊急事態宣言を受け、外食の利用が激減しました。「このままでは見通しが立たない」「3カ月後には資金が底をつく」など、街の元気の源とも言える飲食店が軒並み苦境に直面しており、遠のいた客足を補うため多くの飲食店はテイクアウトを行うなど存続するための動きはあるものの、緊急事態宣言が出る前の売り上げには程遠い。新たにデリバリーを検討する店舗もあるが、大手デリバリーサービスでは飲食店側の手数料が高く、導入にはハードルが高いのが現状のようでした。そこで地域特化した宅配サービス、CHIIBOデリバリーを青年部のメンバーでもある井關拓史さんが立ち上げたので紹介させていただきます。



CHIIBOデリバリーの仕組みは、地元の飲食店など、約30店舗(7月現在)が登録している専用サ

イトからお客様が注文し、注文をキャッチした配送員が店に商品を取りに行き、お客様に届けます。商品代金プラス配送代金(500円)をお客様に負担していただき、この500円はそのまま配送員の報酬に。飲食店側の負担は CHIIBOデリバリーの運営をするための経費ギリギリの15%に抑えた設定に。大手デリバリーサービスでは手数料が高くて利用できなかった個人事業の飲食店が、デリバリーサービスを利用できるようにしているということです。

利用者の声を聞いてみました

【店側の声】

「今まではデリバリーサービスは手数料が高くて導入できなかったが、15%なら導入できるのでありがたい」「店舗の費用負担は注文があって初めて15%の手数料がかかるだけなので、導入しやすかった」「新型コロナウイルスが流行して初めてデリバリーの導入を考えた」

配送員には地元の大学生ら約40名が登録しているようですが、そこにも意味があるようです。コロナの影響で打撃を受けたのは飲食店だけにとどまらず、そこでアルバイトしていた大学生の方達にも影響がありました。「働く場所が新たにできただけでなく、外に出る良いきっかけになった」と CHIIBOデリバリーは働く場所を失った大学生達の活躍の場だけではなく、社会と繋がる場にもなっているようです。

【配送員の声】

「働ける場所を探しているときに、今すぐに働ける場所として CHIIBOデリバリーがあって良かった」「アルバイトの働く日数が減ったので、空



いている日に働けるのが有難い」

利用したことのあるお客さんからは「緊急事態宣言が明けても、感染者が出ている間は実際に店に行くのはまだ気になるが普段行っていたお店がなくなって欲しくはない」「コロナ禍だからでなくても、普段行っているお店のメニューが家で食べられるのは嬉しい」など、お客さんの声からも CHIIBOデリバリーの必要性を感じています。

【利用客の声】

「今回はデリバリーを利用したが、次回は実際に行ってみたいと思っています」
「普段はデリバリーは使わないが、コロナ禍ということもあり非接触でお店の味が家で食べられることと、少しでも飲食店の助けになればと思い CHIIBOデリバリーを頼みました」

【今後のCHIIBOデリバリーへの期待】

飲食店、お客様、配送員、3者WINのCHIIBOデリバリーの取り組みを知った寝屋川市や四條畷市、大東市、高槻市にもCHIIBOデリバ



リーが拡大しているようで、運営はそれぞれの街の地元愛溢れる人が担います。仲間達と助け合いコロナ禍でも負けないまちづくりを今後も手掛けていきます。

※「コロナの影響で飲食店が潰れないためのデリバリー」を合言葉に立ち上げられたCHIIBOデリバリーの由来はイタリア語で食べ物を意味する「CIBO」に愛(1)をプラスした「CHIIBO」と宅配(デリバリー)を掛け合わせたもの。

▼問い合わせは下記まで

CHIIBOデリバリー 発起人：井關拓史
電話番号：090-1968-6145
枚方市川原町9-23

北大阪商工会議所 青年部 会員募集



商工会議所青年部 [MEG] は
次代の地域経済を担う若手経営者の集まりです。

2020年度スローガン

創造力 ~想像できる未来を超えよう~

2020年度会長 南條 範秀

〒573-1159 枚方市車塚1丁目1番1号

輝きプラザ「きらら」6F

枚方市立地域活性化支援センター内

TEL: 072-843-5163 FAX: 072-841-0173

北大阪商工会議所青年部事務局

<http://kitaosaka-yeg.jp/>

ご興味のある方は

こちらへ

